

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 「顧客満足度志向」について 行政運営の効率化と市民サービスの更なる向上を目指し、4つの行政経営指針が示されているが、その中の「顧客満足度志向」については、今後、具体的にどのように取り組むのか。</p> <p>(2) 災害発生時等の情報共有について 防災・減災対策については、大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する総合的な取り組みを進めるため、「志布志市国土強靱化地域計画」に基づき、強靱なまちづくりを目指すとするが、一方でソフト面の対策も重要である。地域住民の生命を守るための災害発生時等の情報共有について問う。</p> <p>(3) 学校ICT環境の整備について 児童生徒1人1台の学習端末の配備や高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備等を目指し、計画的なICT環境の整備に取り組むとする。国も「GIGAスクール構想」を打ち出し予算を計上している。国の財政支援を最大限に活用しながら、ICT環境の整備を加速していくべきではないか。</p>	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長
	2 職員の働き方改革について	<p>(1) 昨年4月より働き方改革推進関連法が一部施行され、長時間労働の是正、労働安全衛生法に定められた「健康管理」の基準により、働きやすく働きがいのある職場づくりが期待されている。本市も職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現と多様な働き方を可能とする職場づくりを進め、将来にわたり、より良い市民サービスを安定的に提供していくことを目指すべきではないか。</p> <p>(2) 施政方針には教員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上を図るための具体的解決策の一つとして、統合型校務支援システムを全ての学校に導入し、業務の効率化を図るとあるが、教員の働き方改革に向けた、本市の現在の取り組み状況について問う。</p>	市 長 教育長
2 野村広志	1 政治姿勢について	<p>(1) 市長就任から2年余りが経ち、任期も折り返し地点である。これまで主張されてきた政策が、どの程度達成されたのか。また、残りの任期における軌道修正も含めた成果目標を問う。</p> <p>(2) 新たなまちづくりを推進するための柱として本庁舎が2021年1月に志布志支所へ移転される。それと並行して、有明地域・松山地域の特性をどのように生かして、発展を導く考えなのか問う。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 政治姿勢について	(3) 本年度も、東九州自動車道及び都城志布志道路の一部開通が予定されている。また、かごしま国体等の開催により、更なる交流人口の増加が期待されている。「志布志市」をPRできる絶好の機会であるが、この千載一遇のチャンスをどのように生かしていく考えなのか問う。	市 長 教育長
3小辻一海	1 地域公共交通政策について	(1) 市長が本市に最もふさわしいと考える公共交通体系の具体的なイメージはどのようなものか。 (2) 地域公共交通網形成計画の策定から、現在までの取り組み状況について問う。 (3) 実証実験のエリアと実証実験を具体的にどのように進めるか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 環境行政について	(1) 撲滅目標年度を迎えたメリケントキンソウについて ① 6年間の取り組みとその成果を問う。 ② これまでの取り組みに対する検証・評価と今後の取り組みについて。 (2) 令和2年度に策定を予定されている生物多様性地域戦略の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長 市 長
4尖 信一	1 情報セキュリティについて	(1) 情報通信環境を活用した業務が一般的になっている中、本市のふるさと納税業務においても、その環境を活用した個人情報等の取り扱いがあると思われるが、セキュリティ対策は十分になされているか問う。	市 長
	2 志布志港の防疫対策について	(1) 現在、新型コロナウイルス感染症やASF（アフリカ豚熱）、CSF（豚熱）の感染拡大が懸念される中、外国籍の船舶が出入りする志布志港において、市民の健康管理や飼料供給基地としての機能維持を図るために、検疫機能の充実を要請する考えはないか。また、今後の防疫対策について問う。	市 長
	3 本庁舎移転に伴う業務改善について	(1) 新年度において本庁舎移転が行われるが、業務改善を含む働き方改革を視野に入れた移転計画が必要と考える。本市は昨年、リコージャパンと包括的連携協定を締結しているが、この協定を本庁舎移転や業務改善策にどのように生かしているか問う。	市 長
	4 森林環境保護について	(1) 本市においても森林伐採が進む中、伐採後の新植が行われないことで、近隣住民は山崩れ等を大変危惧している。適切な森林保護へ向けた対策について問う。	市 長
	5 企業版ふるさと納税の活用について	(1) 企業版ふるさと納税の制度改正により、地方自治体では様々な活用方策が考えられるが、今後どのように事業を展開していく考えか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 南 利 尋	1 環境保全・管理について	(1) 市道伐採等の現状と今後の対応について問う。 (2) 港湾地区の道路を含めた環境保全・管理について問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) 観光入込客数120万人実現に向けた具体的なグラウンドビジョンについて問う。 (2) JR志布志駅周辺に大型モニターを設置し、本市のあらゆる情報発信を行うことで、観光入込客の増加につなげる考えはないか問う。 (3) 「かごしま国体」を生かした観光振興につながる具体的な取り組みについて問う。 (4) ダグリ岬周辺整備の進捗状況と今後の取り組みについて問う。 (5) 本市のインバウンド対策の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
6 平 野 栄 作	1 公共施設の維持管理の在り方について	(1) 公共施設等の管理については、市による管理運営を基本に用途に応じた所管課ごとの管理に分類されている。 近年、指定管理者制度の下で指定管理者により管理運営される公共施設と所管課管理による公共施設が混在する中で、施設管理の在り方について一貫性を欠いていると思われる事例が見受けられる。 行政経営指針の「顧客満足度志向」「オンリーワン」「成果主義」「先手管理」を踏まえた管理の一貫性が担保される改善が必要ではないか問う。	市 長 教育長
	2 自主防災リーダー育成への取り組みについて	(1) 昨年、本市においても記録的な豪雨災害が広域的に発生したが、全国的にも災害多発傾向にある。また、南海トラフ地震の発生が危惧される中、市民一人ひとりの防災意識の醸成が喫緊の課題であることを踏まえると、各地域での自主防災リーダーの育成も急務であるとする。市単独事業での地域防災推進員及び防災士の育成を推進すべきではないか問う。	市 長
7 岩 根 賢 二	1 施政方針について	(1) 施政方針に『本庁舎全体の移転』及び『新庁舎建設等』について調査研究を行うための外部委員による『庁舎の在り方検討委員会』を設置する」とあるが「市民目線で市民が主役のまちづくり」の観点から、「市民の声」をどのように取り入れ、反映させていく考えか。	市 長
		(2) 施政方針に「郷土芸能等の実態調査及び伝承が難しい民俗芸能等の記録保存に引き続き努める」とあるが、保存だけでなく伝承策が必要ではないか。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 八代 誠	1 防災・減災（危機管理）対策について	(1) 避難所に関する取り組みについて問う。 ① 昨年の豪雨や台風接近の際に設置した避難所運営の在り方について。 ② 「志布志市避難所運営マニュアル」について。 ③ 危機管理室の現状と対応範囲について。	市 長
		(2) 「志布志市国土強靱化地域計画」について問う。 ① 本計画の施策推進に向けた今後の取り組みについて。 ② 事前防災・減災の一手法として、沖堤防の増設、沿岸部の防潮堤建設や再開発を前提とした市街地のかさ上げを検討できないか。	市 長
9 市ヶ谷 孝	1 学校給食費の無料化について	(1) 市長が公約に掲げている学校給食費の無料化について、現在の進捗状況と今後の取り組みについて問う。	市 長 教育長
10 小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 選挙公約の実現に向けての取り組みを問う（学校給食費無料化など）。	市 長
	2 保健行政（国保）について	(1) 運営が県に移行して2年になるが、保険料等の今後の見通しをどのように考えているか。 (2) 子育て世帯の負担軽減策として第3子以降の均等割の見直しを図る考えはないか。	市 長 市 長
	3 福祉行政について（生活保護）	(1) 生活保護における自動車利用をどのように考えているか。 (2) 地域の実情を考えると、原則禁止となっている自動車利用の緩和を国に要望する必要があると考えるがどうか。	市 長 市 長
	4 教育行政について	(1) 特認校制度による指定を受けている学校の新年度に向けての現状と支援の在り方はどうか。 (2) 学校や市立図書館で働く司書の専門性をどのように認識しているか。	市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野 広 嗣	1 コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波が懸念される中、日本列島はこれから本格的な台風シーズンを迎えるとともに、最近も地震が頻発しており、災害発生に備えた対策は喫緊の課題である。コロナ禍を踏まえた避難体制や避難所の点検・確認等をはじめとした取り組み状況について問う。	市 長
	2 子どもたちの学ぶ機会の確保について	(1) 緊急事態宣言が解除され学校が再開された。本市は、市立小・中学校の臨時休業を2回実施しているが、休業により子どもたちの学びへの影響が懸念される。義務教育として一人も取りこぼさないような下支えをする支援が必要と考えるが、臨時休業に伴って生じた課題や、学校再開後の児童・生徒の学びについてどのように対応しているのか問う。	市 長 教育長
		(2) 新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波、インフルエンザ等の複合の感染症の流行や自然災害等が懸念される中、再度、臨時休業を余儀なくされる可能性がある。休業期間が長引くと、学習の遅れが心配という保護者の方、特に受験生の保護者の方からの強い御意見を伺っている。また、市長・教育長に対して、多くの市民の署名を添えた「新型コロナウイルス感染対策のための休校時における小中学生のオンライン授業実施及び環境整備に関する請願書」が提出され、休業時の対応やきめ細かい学習指導のためのオンライン授業導入の必要性や期待が高まっている。 2020年度補正予算には小・中学生に一人一台の端末を整備する「GIGAスクール構想」の前倒し実施をはじめとした予算が盛り込まれ、数多くの支援策が含まれている。今回のコロナ禍を契機に、オンライン授業の環境整備を大きく進め、子どもたちの学びを保障すべきではないか。	市 長 教育長
2 野 村 広 志	1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による現状と対応について	(3) 動画やオンライン会話などのデジタル技術（テクノロジー）を教育（エデュケーション）に活用する「EdTech（エドテック）」が学校現場に広がりつつある。新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない中、パソコンを使って、より質の高い学習環境を創り出せると言われている。エドテック、ICTを活用し、子どもの能動的な学びを支援する考えはないか、本市のエドテック活用に対する認識を問う。	市 長 教育長
		(1) 新型コロナウイルス感染症拡大で、本市基幹産業である第一次産業を含め甚大な影響が出ているが、その現状と対応策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による現状と対応について	<p>(2) 各種支援窓口について、市民に寄り添った対応ができてきているか問う。</p> <p>(3) 緊急経済対策に伴う地方税において、特例措置にはどのようなものがあるか。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設されたが、その内容について問う。</p> <p>(4) 年々寄附額が増加していた本市のふるさと納税推進事業であるが、返礼品提供事業者への影響も含めた現状について問う。</p> <p>(5) 市民の楽しみであり、地域を活気付けるのに欠かせない地域の伝統行事やイベント、スポーツ大会など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止や延期が相次いでいる。消費拡大や景気刺激策として、今後を見据えた新たな形での催事等の在り方について問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p>
3尖 信一	1 コロナ禍後について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大による様々な影響が経営、雇用、就学などに広がっている。また、今後行政上の運営にもその影響があると思われる。そこで以下の点について問う。</p> <p>① 緊急事態宣言終了後も全面的な回復は見られない。長期にわたる影響が予想されるが、本市の税収への影響と具体的対策について問う。</p> <p>② 休業協力要請による経営難から事業再開も見通せず、廃業を視野に入れた経営とならざるを得ない法人や個人事業者が見受けられる。本市のあらゆる産業が衰退するおそれがあるが、どのような支援や対策を取るかについて問う。</p> <p>③ コロナ禍で社会全体が大きく変わろうとしている。本市の産業構造自体も、時代の変化に対応したものに創り替える必要がある。コロナ禍後の本市のまちづくりの基本的な考え方を問う。</p>	市 長
	2 医療体制について	<p>(1) 今回の新型コロナウイルス感染症拡大を受け、本市の医療の在り方を見直す好機でもある。全国ではPFIを活用した医療施設整備の事例もあるが、本市も同様の医療体制の確立に取り組むべきではないか。また、本市単独でも、医師の育成に取り組むべきであると考えがどうか。</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年6月定例会 (No.8)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5南 利 尋	1 新型コロナウイルス感染症対策について	(1) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う、市内事業者への経済支援策の実施状況について問う。 (2) 緊急事態宣言により、県外への移動が制限され、市内における消費の見直しにつながったと考える。これを機会に、より一層市内での消費につながる店舗の誘致を図るべきではないか。 (3) 新型コロナウイルス感染症拡大により、自宅からの外出も制限され、身体を動かす場の確保が重要であると認識された。本市の豊かな自然を生かした市民の憩いの場を早急に整備すべきではないか。	市 長 市 長 市 長 教育長
6小園 義行	1 新型コロナウイルス感染症について	(1) 新型コロナウイルス感染症が全国で拡大し終息の見通しが無い。感染拡大の影響は、本市でも経済活動を含め学校等、すべての分野に大きく及んでいる。今回の新型コロナウイルス感染症拡大をどのように受けとめているか。また、今後の行政の在り方についても問う。 (2) 市内医療機関や介護施設等への影響をしっかりと把握しているか。	市 長 教育長 市 長
	2 保健行政について	(1) フッ化物洗口の導入を市内小学校に広げる考えで取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から見直す考えはないか。 (2) 改正健康増進法の全面施行を受けて、本市の取り組みはどうか。	市 長 教育長 市 長 教育長
	3 学校教育について	(1) 学級編制の県の基準では小学校3年生から6年生は40人と設定されている。特別支援学級に入級する児童がいる場合、40人を越えて編制することができるのか。 (2) 兄弟のどちらかが特別支援学級に入級している場合の担任の果たす役割はとて大切である。しっかりと対応がなされているか。	教育長 教育長
	4 商業振興について	(1) 議案第55号で株式会社志布志まちづくり公社の土地取得が提案されている。土地取得後の公社への土地賃借料についてどのような協議がなされているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.9)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小辻一海	1 豪雨災害への対策について	<p>(1) 本市を襲った令和2年7月豪雨による災害は、同じ場所で積乱雲が次々と発生し集中して大雨が発生する線状降水帯が多発して、土砂崩れや道路陥没など被害が多数発生している。このことは、異常災害がもはや身近に起こり得る日常になりつつあるということを示す裏付けになったものだと思うが、このような異常気象の時代に、どのようにしてわがまちの人命と財産を守っていくのか、その対策について問う。</p> <p>① 土砂災害警戒区域や危険区域の実態把握と周知について問う。</p> <p>② 土砂災害ハザードマップの取り組みと活用について問う。</p> <p>③ 避難勧告・避難指示の告知及び避難所の運営と防災備蓄用品の常設について問う。</p>	市 長
2 小野広嗣	1 土地基本法等の改正について	<p>(1) 所有者不明土地の増加や自然災害の頻発等により、適正な土地の管理の重要性が増大していることに鑑み、適正な土地の管理を企図して土地基本法等の改正が行われ、本年3月31日に公布された。土地基本法で規定された新たな理念・所有者等の責務や基本的施策で定める内容に基づいた今後の施策を具体的に示す「土地基本方針」を新設し、その策定・更新を通じて、防災・減災の観点からも重要な所有者不明土地対策、管理不全土地対策等の個別施策を着実に展開していくとしている。今回の改正に対する本市の認識と、新設された「土地基本方針」に示されている、以下5点について問う。</p> <p>① 低未利用地の適切な利用・管理を促進する施策の展開について</p> <p>② ランドバンクについての認識と活用等の推進について</p> <p>③ 管理不全の空き地・空き家対策の現状と今後の取り組みについて</p> <p>④ 土地の境界及び所有者情報の明確化を図る地籍調査の円滑化・迅速化について</p> <p>⑤ オンライン化の取り組みも含めた各種台帳連携等による土地・不動産に関する情報基盤の整備に関する認識について</p>	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.10)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 統合型地理情報システム（統合型GIS）の活用について	(1) ICTの活用による情報化施策が推進される中、自治体が保有するデータのオープン化など、その利活用に関する市民の意識や期待も高まっている。本市の統合型地理情報システム（統合型GIS）の活用状況について問う。	市 長
	3 地域共生社会に向けた取り組みについて	(1) 地域共生社会とは、子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域で住民が互いに助け合って暮らし、生きがい等を共に創り、高めあうことのできる地域を共に創っていく社会の構築を目指すものである。多様化・複雑化する福祉ニーズに対応するためには、行政の縦割りから分野横断へ転換が必要である。本市における地域共生社会の実現に向けた課題を含めた基本的な考えを問う。併せて、学校教育における共生社会の形成に向けた取り組みについて問う。	市 長 教育長
3 野村広志	1 コロナ禍後について	(1) 新型コロナウイルス感染症の終息後、本市が進めるべき施策について考え方を問う。	市 長
	2 防災行政全般について	(1) 台風や大雨等による風水災害は、特に河川域で甚大な被害をもたらした。今後、新たな指針に基づく治水の在り方について検証すべきではないか。 (2) 自主防災組織による避難所運営について考え方を問う。	市 長 市 長
4 尖 信一	1 教育行政について	(1) 新型コロナウイルス感染症が終息しない中、本市の学校教育の運営について以下を問う。 ① プログラミング的思考の授業や英語授業がスタートし、さらにはコロナ禍の対応で教員の負担が一層増加している。新型コロナウイルス感染症予防の消毒作業や授業サポートなどにおいて、学校運営協議会や地域住民との連携した取り組みは考えられないか。 ② 本市での学力向上における目標設定がされているが、この状況の下、現在の進捗状況はどうか。また、学力向上のためにどのような対策を講じているか問う。 ③ 教科書の選定について、その選定基準や委員の選定方法を問う。 ④ 大学入試制度の変更に伴い、受験者の思考力や判断力も求められるようになる中、人材育成のための小中学校での授業の在り方をどのように考えているか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.11)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4 尖 信一	2 コロナ禍の対応について	<p>(1) 現在、第2波と思われる感染が拡大する中、様々な支援策が実施されている。今後も終息が見えない状況で、経済的支援の在り方と、本市の長期的な取り組みについて以下を問う。</p> <p>① 感染が発生するたびに行う支援は、一時的な対処である。市民が安心して経済活動に参加できるように、様々なウイルスを不活性化できる機器の導入に対して補助金を交付することで、経済の活性化を図る考えはないか問う。</p> <p>② コロナ禍の中、初めて東京都の人口が2,200人ほど減少している要因として、感染を恐れての地方移住が起きているとの一部報道もある。今回、志布志市観光特産品協会の志布志駅舎への移転に伴い、隣接するサンポートしぶしアピア内への企業誘致を図る考えはないか問う。</p>	市 長
5 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	<p>(1) 移転にかかる費用は総額いくらになるのか問う。</p> <p>(2) 専門知識を持つ学識経験者、市内各種団体の代表者及び市民代表者で構成される志布志市庁舎等の在り方検討委員会の進捗状況について問う。</p> <p>(3) 中長期計画の考え方について問う。</p>	市 長 市 長 市 長
6 西江園 明	1 不登校児童・生徒の実態と行政支援について	<p>(1) 不登校児童・生徒の実態と不登校の定義を問う。</p> <p>(2) 現在行っている不登校児童・生徒への行政支援を問う。</p> <p>(3) 家庭教育学級の取り組み状況について問う。</p> <p>(4) 本市のSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置状況と勤務体制を問う。</p> <p>(5) 不登校問題について、SSWをもっと活用すべきと思うが見解を問う。</p> <p>(6) 不登校問題に、今後どのように取り組む考えか問う。</p>	市 長 教育長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長
	2 ひきこもりの実態と行政支援について	<p>(1) ひきこもりの実態と定義を問う。</p> <p>(2) 社会投資として支援に取り組み、解決に導くべきと考えるが見解を問う。</p> <p>(3) ひきこもり問題に、今後どのように取り組む考えか問う。</p>	市 長 市 長 市 長
	3 公共施設について	<p>(1) 公共施設の長寿命化計画について、内容と進捗状況を問う。</p>	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.12)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 西江園 明	3 公共施設について	(2) 公共施設において、単独処理浄化槽方式から合併処理浄化槽方式への転換が進まないのはなぜか。 (3) 転換へ向けた今後の計画を問う。	市 長 教育長 市 長 教育長
7 平野栄作	1 蓬原・野井倉開田の導水路の改修等について	(1) 本市においては、昨年及び本年と大雨による大規模災害が続けて発生した。この大雨により両開田の導水路も被災し、最も必要な時期に水が供給されないという状況に見舞われた。両開田はそれぞれ500haの水田を抱えており、水稻等の耕作者からそれぞれ所管する土地改良区に苦情の電話が相次いだと聞いている。今後も、台風や大雨による災害が懸念されるが、導水路の改修及び改良についての認識を問う。	市 長
	2 土地改良区との連携について	(1) 農地の貸し借りには、農業委員会が行う利用権設定と農政畜産課内にある農地中間管理機構によるものに分別されると認識している。また、土地の賃借料については農業委員会がその目安としての金額を提示しており、これを基に賃借料を決めている状況にある。さらに、農地についてはそれぞれの地区毎に土地改良区が組織されているが、土地持ち非農家の増加等により、水利費等賦課金の徴収に支障が出ている状況もあると聞いている。今後も担い手への集約化が一段と加速する中、土地改良区との連携も強化すべきと思うが認識を問う。	市 長
8 八代 誠	1 防災・減災（豪雨及び台風等）対策について	(1) 前川・安楽川・菱田川の二級河川河口に位置する有明町通山地区を含む志布志市街地の河川氾濫時における避難判断の現状について問う。	市 長
		(2) 豪雨及び台風襲来による災害発生時の庁舎内連携及び市内建設業者等との連携について問う。 ① 道路啓開（救援ルートの確保）のための方策について。 ② 現時点において、庁舎内での情報共有が十分ではないと感じるが、どのように認識しているか。 ③ 災害発生時の早い段階で市内建設業者等との連携が必要と考えるが、現状では、どの時点で業者等との連携を図っているのか。 ④ 松山・志布志・有明地域、それぞれの専門的知識を有する建設業者等を庁舎内に集め、より効率的で効果的な作業を進めるなどの手法は考えられないか。	市 長
9 丸山 一	1 保護条例について	(1) 志布志湾に飛来する絶滅危惧種であるコアジサシ類の保護条例を策定すべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.13)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9丸山 一	2 防災対策について	(1) 市道一丁田・宇都鼻線の肆部合地区信号付近の排水対策について問う。 (2) 防災上の観点から、菱田川河口をストレートに開削はできないか問う。 (3) 7月豪雨により、市内の橋りょうに木材等の漂着物が堆積している。今後発生する台風等にも備え、早急に撤去すべきではないか。	市 長 市 長 市 長
	3 保護対策について	(1) 本市に群生する貴重なフクロハイゴケの保護対策を急ぐべきではないか。	教育長
	4 坪枯れ対策について	(1) 本年度の本市における早期水稻栽培では、ウンカによる坪枯れの被害が多くみられた。今後、被害の拡大を防止する対策が急務と考えるが、見解を問う。	市 長
	10南 利 尋	1 災害対策について	(1) 7月に発生した豪雨災害について、本市における復旧作業の進捗状況について問う。 (2) 先手管理の観点から、自然災害に対して新たな防災対策に取り組むべきではないか問う。
10南 利 尋	2 経済対策について	(1) コロナ禍の今、市内全体に過度な不安感が漂っているように感じる。しっかりとした感染対策を講じながら、日常の経済活動をもっと促すべきではないか問う。 (2) マイクロツーリズムの取り組みについて問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 市内観光スポット整備事業の進捗状況について問う。 (2) 夏井、陣岳、ダグリ岬周辺の大自然を生かした観光事業に取り組むべきではないか問う。 (3) 新たなまちづくりに対して商業施設の誘致に取り組むべきではないか問う。 (4) 志布志駅周辺に観光案内や行政情報、各種イベントなどの情報発信できる大型モニターの設置に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	11小園 義行	1 国保について	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3割以上の収入減少が見込まれる世帯は、国保税が減免される旨の国の事務連絡や通知が出ている。その内容や周知の在り方と現在の状況を問う。 (2) 子育て支援策として18歳以下の子どもの均等割額の見直しは考えられないか。
11小園 義行	2 災害対応について	(1) 7月豪雨は、本市に大きな被害をもたらした。災害発生後の状況把握の在り方は、どのような体制で取り組まれているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年9月定例会 (No.14)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11小園義行	2 災害対応について	(2) 被害状況が確認できた後の処理対応について、本庁、各支所の体制はどのようになされているか。 (3) 今日の災害を受けて、技術職員の増員は考えられないか。	市 長 市 長
	3 福祉行政について	(1) 9月は知的障害福祉月間である。啓発活動の取り組み状況はどうか。 (2) 相談活動の在り方として窓口の在り方等、関係機関とどのように連携しているのか。 (3) 敬老祝金の支給を予算の範囲内で75歳以上全員に支給する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
12鶴迫京子	1 スポーツ振興について	(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け延期となった、燃ゆる感動かごしま国体における県等との協議状況について問う。 (2) 今後、延期された国体開催に向けた本市のスポーツ振興の在り方について問う。 (3) 第2次志布志市スポーツ振興計画の策定に向け開催された市スポーツ推進審議会において、抽出された現状や課題とはどのような内容だったのか。また、同計画策定までのスケジュールはどのようになっているか。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長
	2 保健行政について	(1) 歯と口の健康が脳疾患や心臓疾患等に大きく影響するとも言われていることから、本市においても歯科衛生士の採用は考えられないか。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.16)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	2 コミュニティ協議会について	(1) 本市では、各地域で抱えている様々な課題等を解決するため、従来の校区公民館組織体からコミュニティ協議会へと移行する準備が進められている。現在、3地区をモデル地域として取り組んでいるが、その他の地域では、十分な情報もなく周知や準備期間の確保等も含め、不安視する声が聞かれる。そこで現段階の進捗状況と目指すべき協議会の在り方等について考えを問う。	市 長 教育長
3尖 信一	1 学校給食について	(1) 本市の合併に伴い、学校給食事業が統合・運営されているが、児童・生徒への安心安全な給食の提供や食育に関し、本市の取り組み状況について問う。また、円滑な事業運営に向け、調理業務に携わる職員の待遇や、給食費徴収事務等について、どのように取り組んでいるか問う。	市 長 教育長
	2 図書館運営について	(1) コロナ禍の下、図書館の運営についても、職員による定期的な備品や本の消毒作業が発生するなど大変な状況にあると聞く。非接触型の図書館利用として、図書の電子化に向けた取り組みは考えられないか問う。	教育長
	3 環境問題について	(1) 菅新政権が誕生し、その政策の柱として「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする」と発表した。本市もリサイクル率では全国トップクラスだが、いまだ河川の汚染は改善されていない。これまでの取り組みと今後の本市の環境行政に対する考え方を問う。	市 長
	4 人材交流について	(1) 市役所では、次年度に向けた職員の新規採用試験が行われているが、コロナ禍の下、全く違う業種への派遣が実施されている企業もある。民間で培った新たな発想等を活用する観点から、人材交流を行う考えはないか問う。	市 長
	5 ふるさと納税について	(1) コロナ禍の下、本市のふるさと納税における寄附額等の現状はどのようになっているか。また、今後、事業を実施するにあたり、一般社団法人志布志市観光特産品協会とは、どのように連携していく考えか問う。	市 長
4小園義行	1 公共事業について	(1) 土木・建築及び水道事業者の現状をどのように認識しているか。 (2) 公の施設の維持・改修や災害発生時の対応等で事業者の果たす役割は大きなものがある。行政としても、支援の在り方を含め真剣に取り組む必要があると考える。市としての対応について問う。	市 長 市 長
	2 農業振興について	(1) RCEP協定に15か国が署名をした。本市の農業に及ぼす影響をどのように受け止めているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.17)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方	
4 小園 義行	2 農業振興について	(2) 2018年度の食料自給率は過去最低を記録した。カロリーベース総合食料自給率は37%である食料を海外産に依存している国の農業政策をどのように考えるか。 (3) 高収益作物次期作支援交付金について、本市の申請件数を問う。 (4) 事業の見直しにより、申請した農家で対象外となる件数はどれくらいあるのか。 (5) 当初の基準・要件で交付すべきと国に声を上げるべきではないか。 (6) 種苗法改定案が国会で審議されている。市としてどのように受け止めているか。	市 長 市 長 市 長 市 長	
	3 福祉行政について	(1) 本年度の敬老祝金支給の現状を問う。	市 長	
	4 行政のデジタル化について	(1) 国がデジタル庁の設置を表明しデジタル化を進めようとしているが、市としてどのように受け止めているか。	市 長	
	5 玉垣大二郎	1 交通行政について	(1) 秋の全国交通安全運動期間における1000人街頭立哨運動を中止した理由と今後の交通安全対策事業について問う。	市 長 教育長
5 玉垣大二郎	2 環境行政について	(1) 菅新政権において「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ」を宣言された。本市においても削減目標があるが、これまでどのような取り組みをしているのか問う。 (2) 令和元年度に地方公共団体が食品ロス削減施策の策定や、実施の責務を有することが定められたが、本市ではどのように取り組む考えか問う。 (3) 市道、県道における除草作業の現状と対策について問う。 (4) 住宅地における振動対策について問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 市 長	
	6 南 利尋	1 農業振興について	(1) 昨年度より甚大な被害をもたらしている甘しょ基腐病の発生状況と今後の対応・対策について問う。 (2) 国による高収益作物次期作支援交付金の見直しが行われた。生産者の多くは申請を終え、本交付金を見込んで事業計画を立て、先行投資などを行っている。本市としては、どのような対応を考えているか問う。	市 長 市 長
		2 経済対策について	(1) コロナ禍において、本市では様々なコロナ感染情報が交錯している。情報の錯乱は経済活動の妨げになるのではないかと危惧するが、市としての見解を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.18)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 南 利 尋	2 経済対策について	(2) 新型コロナウイルス感染症対策に係る本市単独事業に対して、いくつかの減額補正予算が計上されている。この結果をどう捉えているか問う。 (3) 新規事業として計上されている「コロナに負けるな！SHIBUSHIプレミアム商品券発行事業」の在り方について問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 観光事業こそ、地方創生の重要な成長戦略であると考え。本市の魅力ある観光資源を最大限に利活用するためにも、観光に特化した新たな部署を設ける考えはないか問う。 (2) コロナ禍の下、人との接触が少ない自然を楽しむ人が増えている。ダグリ岬周辺や夏井地区において、オートキャンプ場などの整備を行う考えはないか問う。	市 長 市 長
7 岩 根 賢 二	1 業務改善策について	(1) 過去に「ワンストップ窓口」について質問したが、「市民の立場で考えると、職員が動いて対応する職員派遣型がいいと思う。全庁的な組織の見直しをする段階で調査・研究をしていきたい」とのことであった。その後の調査・研究の進捗状況について問う。 (2) 政府は、デジタル化や押印廃止を推進しているが、本市での取り組み状況はどうか。 (3) 市の単独事業で、補助金申請時に「滞納のないことの証明」が求められる場合、申請者の了解を得た上で、税務課と関係課が連携して確認する方法に改められないか。	市 長 市 長 市 長
	2 本庁舎周辺の施設及び環境の整備について	(1) 戦没者を慰霊するための慰霊塔は、長年の風化により黒ずんでしまっている。また、塔に通ずる通路や階段は傾斜も厳しく利用しにくくなっている。塔を白く塗り直し、通路や周辺の環境整備を行ってはどうか。 (2) 開田の里公園は保育園や家族連れの利用者が多く、広く市民から愛されているが、遊具等が故障したり破損したりして使えなくなっている箇所がある。早急に修繕すべきではないか。 (3) いこいの森は桜の名所であるが、花見のシーズン以外は荒れ放題となっている。年間を通して伐採等を実施すべきではないか。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.19)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7岩根賢二	2 本庁舎周辺の施設及び環境の整備について	(4) 本年3月定例会の中で、東京新聞の記者が岳野山を見て「これは日本全国でも素晴らしい」と話されたとの答弁があったが、その眺望を生かし観光地として周辺の整備を進める考えはないか。併せて、合併前の「百年の森構想」を再構築する考えはないか。また、岳野山を定期的に整備している団体に対して何らかの支援をする考えはないか。	市 長
	3 交通安全対策について	(1) 「高齢者の交通安全の日」の取り組みについて、本市ではどのように実施されているか。	市 長
		(2) アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を防ぐための装置を取り付けた車や、急発進を防ぐ機能を備えた車の購入、または後付けする場合に、本市でも補助する考えはないか。	市 長
4 環境政策について		(3) ドライブレコーダー購入に対して補助している自治体がある。本市でも補助する考えはないか。	市 長
		(1) 菅首相は「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す」と表明した。国内ではすでに多くの自治体が二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「脱炭素宣言」をしている。本市でも同様の「脱炭素宣言」をする考えはないか。	市 長
8持留忠義	1 水路の改修等について	(2) 脱炭素に向けた取り組みの一環としてクリーンエネルギー自動車購入に対して補助する考えはないか。	市 長
		(1) 近年、本市においても大雨による大規模災害が発生し、上荒土地改良区ではトンネルの陥没により、必要な水が必要な時期に供給されない事態も発生したが、復旧に向けた工事の進捗状況について問う。	市 長
	2 土砂災害による土砂の撤去について	(2) 今後も予想される災害に対し、水路の改修や改良についての本市の考えを問う。	市 長
3 高収益作物次期作支援交付金について		(1) 被災者の負担軽減を目的とした農地災害復旧事業補助金が適用されるが、受益者による2割負担が伴う。被災者を支援するという観点から、受益者負担割合の見直しは検討できないか。	市 長
		(1) コロナ禍の影響から、市場価格に影響を受けた野菜、茶等の高収益作物については、国によって高収益作物次期作支援交付金の創設がなされ、新たな需要促進につなげるとしているが、運用見直しは本市の生産者にどのような影響を及ぼすのか、市としての見解を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和2年12月定例会 (No.20)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 持留 忠義	4 甘しょ基腐病の対策について	(1) 加工用さつまいもを栽培されている生産者の報告によると、基腐病の影響によって収穫量が4割から5割減少しているとのことだが、本市における現状と今後の対策を問う。	市 長
	5 鳥獣被害対策について	(1) 依然として続くイノシシ等による農作物の被害に対し、本市は電柵設置に補助金を交付しているが、全ての申請者に対応できるよう予算の増額はできないか。	市 長
	6 消防団員の確保について	(1) 現在の消防団員の充足率はどれくらいか。 (2) 消防団員の確保に向け、福利厚生の見直し等は検討できないか。	市 長 市 長
9 鶴迫 京子	1 観光行政について	(1) 歴史遺産を活用した魅力ある観光まちづくり計画について問う。 ① 志布志城内城において優先的に展望台・園路・広場などを整備し、ICTを活用した観光コンテンツバーチャル名護屋城の先進事例に倣い、バーチャル志布志城として観光振興を図る考えはないか。 ② コロナ禍におけるこれからの新しい観光スタイルとして、人との接触が少ない「まちあるき」が有効であるとする。市として早急に取り組むべきと考えるがどうか。 ③ 計画にはないが、本市に旅の途中で立ち寄った俳人「種田山頭火」氏の句碑巡りや、地元の現代俳句の巨匠「藤後左右」氏の句碑がある国際の森等を「俳人ロード」とし、ご当地グルメやスタンプラリー等と関連付けてイベントを開催するなど、歴史文化のまち「しぶし」を県内外にPRすべきではないか。	市 長 教育長